

藤の里だより

第20号 平成21年4月20日 発行



グループホーム 新料金表

平成21年4月1日施行

要支援2	831 単位/日
要介護1	831 単位/日
要介護2	848
要介護3	865
要介護4	882
要介護5	900

認知症専門ケア加算 (I)	3 単位/日
医療連携体制加算	39 単位/日
サービス提供体制強化加算 (III)	6 単位/日

ショートステイ 新料金表

要支援1	571 単位/日
要支援2	695
要介護1	755 単位
要介護2	826
要介護3	896
要介護4	967
要介護5	1,027

夜間職員配置加算 (ユニット型)	18 単位/日
看護体制加算 (I)(II)	12 単位/日
サービス提供体制強化加算 (III)	6 単位/日

どにくやたシグ置にサ表藤ビア
う努だや。ヨルに、はのस्प平
ぞめさこーつ勤ビ左里のプ成
ごていしトプけ続ス記は内と二
理生。いスホら年をのグ容伝十
解き今部テムるの供うしよら一
のた後分イムるの加長すにプつれ四
ういものでに加長すにホてて月
えとサ説はは算いるな職職りーは
宜職ー明基認な員員まム据ま日
し員ビは本の知ど員員まム据ま日
くース、の症での割を。シ置たから
お同内個願思容別が修そをれ受
願思容別が修そをれ受
いつのにが修そをれ受
申て充受しお実け
しお実け
上げま利用わります。
ます。者様のすの持ち遠慮なく
介質問

二十一年度介護報酬の改定について
藤の里代表 石原恵子

2009年 グループホーム藤の里 年間行事

4月	桜お花見		
5月	加須巨大鯉のぼり見学	藤見学	第4月曜日 消防訓練
6月	バラ見学	ラベンダー・アヤメ見学	
7月	七夕祭り		
8月	夕涼み (花火演出)		
9月	コスモス見学	お楽しみ会	第4月曜日 消防訓練
10月	秋の運動会 (グループホーム) (ショートステイ)		
11月	紅葉狩り		第4月曜日 消防訓練
12月	クリスマス会		
1月	正月鏡開き	書初め	
2月	節分・豆まき	観梅	新日本舞踊
3月	ひなまつり会		第4月曜日 消防訓練
その他	※新日本舞踊・ギター慰問		※オアシス音楽祭
	※毎月第2火曜日 (習字教室)		※毎月第3火曜日 (絵手紙教室)
	※毎月第2水曜日 (GHミーティング)		※毎月第3月曜日 (SSミーティング)
	※毎年1・4・7・10月藤の里だより発行		

2009年 ショートステイ藤の里 年間行事

4月	お花見	玉敷公園	10月	運動会/お月見	グループホーム
5月	藤/菖蒲見学	玉敷神社	11月	紅葉狩り	立山公園
6月	薔薇/バラ見学	菖蒲町役場	12月	クリスマス/餅つき	自ホーム
7月	七夕	自ホーム	1月	鏡開き/書初め	自ホーム
8月	夏祭り	グループホーム	2月	節分	自ホーム
9月	コスモス見学	未来館(大越)	3月	ひな祭り/観梅	鴻巣市役所
月行事	絵手紙	文月会	習字	黒川師範	グループホーム

※ ボランティア 傾聴(社会福祉協議会)/コーラス/日本舞踊/読み聞かせ

編集後記

4月の下旬に差し掛かり日に日に暖かさがましとて同時に汗をかく機会も多くなります。水分不足になり対象を崩す方も多いため暑い夏に向けて体調には気をつけていきたいものです。次号は7月20日を予定しています。

広報担当 小白

編集発行人	ホームページ	http://2943.jp
北埼玉郡騎西町鴻基2168-1・2		
有限会社	フクシ	
グループホーム「藤の里」	TEL 0480-73-2943	FAX 0480-73-2994
ショートステイ「藤の里」	TEL 0480-73-8294	FAX 0480-73-2991

担当: 石原

ナースの窓

☆結核について

結核とは「結核菌」という細菌が直接の原因となって起こる病気で、たんの中に結核菌がでるような重症の結核患者さんが咳やくしゃみをして、そのしぶきの中の結核菌を吸い込むことで空気感染(飛沫核感染)します。

過去の病気と思われがちですが、今でも年間2万5千人以上が発病するわが国最大の感染症であり、油断できない病気であることにかわりありません。

いつでも、だれでも感染、発病のおそれがあり、同時に他人にも感染させる病気です。とくに結核患者の家族やその周辺の人で、抵抗力のない乳幼児やお年寄りには、いつもその危険のあることを忘れてはいけません。

※結核の病原菌。1882年コッホにより発見された。棒状で長さ1〜4マイクロメートル、人には痰や唾液の飛沫によって気道から感染することが最も多い。

☆結核の症状

「長引く咳は赤信号」とあるように、咳が2週間以上続く場合、または次のような自覚症状がある場合には、念のため医療機関を受診しましょう。

- (1)血痰 (2)胸痛 (3)微熱 (4)体重減少 (5)倦怠感



☆結核の感染経路

「ゴホン！」と咳をすると、目に見えないしぶきが大量に放出されます。このなかに結核菌が含まれていると、近くの人がそれを吸い込んで感染を起こします(飛沫核感染)。このように結核は100%、気道からの吸入感染ですので患者の使った食器や衣類などから感染する危険性はありません。

また、結核になっても、治療で結核菌が減っていたり、痰に菌が出ていない状態であれば、他の人にうつす恐れはないので、結核患者だからといって避ける必要はありません。

☆結核の予防

- (1) 定期的な健康診断の受診(年1回は必ず受けましょう)。
- (2) 咳・痰が2週間以上続いたら医療機関を受診しましょう。
- (3) 規則正しい生活・バランスのとれた食生活を心がけましょう。
- (4) 休養は十分とりましょう(睡眠)。
- (5) 身体の抵抗力が弱まっている人は定期的に医療機関を受診しましょう。

予防医学会より抜粋

秋刀魚のロール巻き <2人分>

材料 2人分

秋刀魚	1尾	塩	少量
じゃが芋	20g	こしょう	少量
人参	5g	揚げ油	適量
きゅうり	5g	パン粉	適量
玉ねぎ	5g	小麦粉	適量
キャベツ	適量		

作り方

- ①三枚に卸した秋刀魚に塩・こしょうを振る
- ②じゃが芋は皮をむいて、乱切りにしゆでてつぶす。
- ③きゅうりは小口切りにする 玉ねぎは薄く切る。②とまぜる
- ④①の秋刀魚に③を手前において巻き小麦粉・卵・パン粉つけてあげる。
一口メモ

じゃが芋はカリウムを多く含んでいます。カリウムはナトリウム(塩)を体外に排出する作用があり、塩分の摂りすぎによる高血圧などに効果があります。他にもビタミンB1やビタミンC・食物繊維などを含み一年中食べられるビタミン源でもあります。



豆まき (施設内) (2月3日)



落花生での豆まきでしたが、投げている方の横では、拾って割って食べている方もいました。大きいお面を持って玄関で集合写真を撮りました。



新日本舞踊 (施設内) (2月7日)



恒例の新日本舞踊、初公演の時よりもファンの方が多くなり、そのうち、入りきらなくなりそうなくらいです。



梅見字 (花崎北公園) (2月22日)

今回の参加者に梅などの季語を入れた俳句を作っていました。

☆紅梅も 顔もほころび いい花だ

☆このあした 梅の香におう 幸せよ

☆紅白の 梅の香におい まったりと



ひな祭り見学（鴻巣市役所ロビー）（3月3日）



今年は、天候があまりよくなかったため、公園でのお茶会は出来ませんでしたけど、「良い記念になった」と言う方もいらっしゃいました。



桜見学特集

玉敷公園散歩（4月1日）



久喜・清久工業団地ドライブ（4月2日）



今回の桜見学は、全員参加することが出来ました。曇りや突風が吹く日が、4月に入り多い中、



幸手権現堂桜見学（4月6日）



ややツボミも見られ、5分～8分咲きでしたが、写真を見ても分かるように笑顔は満開でした。



レクリエーション 習字・絵手紙



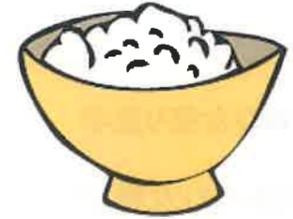
毎月の習字・絵手紙は職員の声掛けでたくさんの方が集まりました。



ケアマネノート

ある日の会話

WBCの野球観戦日本と韓国の決勝戦見ている男性の方に「日本と韓国どっちが強いかしら」と尋ねると「イチロー」と言って笑っている「イチロー好きなんですか」とたずねると「そう」とのことです。



食べたことを忘れる

食事したのに食べてないという

お年寄りが、食事したのに「食べていない」と言って何度も食べ物を要求するのは、食べたことを忘れてしまう。また脳の満腹中枢が侵されている、欲求不満を食事で満たそうとした結果起こるものです。「今食べたでしょ」といっても本人は納得できません。「これから用意するところだからもう少し待っててね」といったり、おやつやおにぎりなどを少量ずつ渡すなどして、食べることの満足感や期待感を満たせてあげることが大切です。

・何度も食べ物を要求する
・食べたことを忘れる場合

原因を考える

・満腹中枢が侵されている
・欲求不満を食事で満たそうとしている

・「さっき食べたばかりでしょ
言って納得させよう
しないでください

・次に食べられる時間を示して
あげましょう
・食事の支度中であることを
話してあげましょう

それでも要求する場合

いわないで(禁句)

今食べたばかりでしょ
食べ物ないですよ 等

・長持ちするあめ玉や軽い
・おやつを渡して
・満足させましょう。
・おやつを少量ずつ渡してみましょう

消防訓練を終えて

3月23日 昨年度最後の通報、避難、消火訓練を行いました。初めてバケツを使って消火訓練をしました。はじめに一応手順を説明して行いましたが、結果いろんな行動をとる人がいました。そのとき見たり、聞いたりした職員がいると思われそうですが、バケツを両手に持って動けない人、バケツリレーするとき向く方向が隣の人と逆になってたり、空になっているバケツを持って戸惑っている人と、いろんな動きをする人がいて驚きました。改めて繰り返して訓練することの重要性を肝にめいじました。ご利用者の安全、安心の為、今年度も気を引き締めて訓練したいと思います。老人施設の悲惨な事故が報道されています。日頃の訓練が防火意識を高め事故を防ぐことにつながると感じています。



防火管理者

